1　本学の概要

1. 建学の精神

「自立・自活できる人材の育成」

2. 教育理念

「真理の探究に努め、新時代に求められる教養を身につけ地域社会への貢献を果たすべく高い専門性の修得を図る。」

「自立的でかつ調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、生を慈しみ相互の人格と尊厳を尊ぶ社会性を培う。」

「心身の鍛練に励み、進取の気概に溢れた明朗活発な心と自らの能力の最大限を発揮しうる優れた体力を養成する。」

合言葉：『あなたはこの資格のほかに何ができますか』

３．学位授与の方針（ディプロマポリシー）

学則第５条に規定する期間在学し、所定の授業料等を納入し、所定の科目及び単位を修得し、次に示す方針に基づいた能力と態度を有するに至った者には、卒業証書及び学位を授与する。

１）はば広い教養と豊かな人間性を育む努力ができる。
２）専門的な知識や技能の修得をめざし、もって地域社会の発展に貢献できる。
３）各学科のめざす資格の取得を図るとともに、多様な資格の取得に取り組む意欲を持つことができる。
４）専門性を持った持続的就業力をつけることができる。

○ライフデザイン総合学科

社会に対応し専門職としてのニーズに応えられる努力ができる。さらに、はば広い教養と専門的な知識を学び、時代の求める人材をめざすことができる。

〈ファッションブライダルコース〉

・ファッション業界やブライダル業界の基礎的な知識や技術を身につけることができる。
・業界で活躍できる実践力と就業力を修得できる。

〈グラフィックデザインコース〉

・専門分野の基礎的な知識や技術を修得できる。
・専門分野で主体的に取り組むことができる。
・専門分野で通用する就業力を修得できる。

〈医療事務コース〉

・ビジネスや医療事務の現場で求められる汎用的・専門的な知識と技能を身につけることができる。
・社会人や職業人として常に求められるコミュニケーション能力を修得できる。
・地域社会において、自ら課題を発見・解決し、社会に貢献できる。

〈ビジネス・観光コース〉

・自分自身の意見を明確に主張しつつ、他者の意見に耳を傾ける柔軟なコミュニケーション能力とリーダーシップを有し、自立的に判断して行動することができる。

・社会人として必要なビジネス実務、観光・サービスに関する基本的な知識・技術と高い日本語能力を有し、社会において実践できる。

〈日本語コース〉

・日本社会で必要な知識、教養のみならず、文化、習慣を理解できる。

・日本語の基礎能力を習得・統合し、自身の目的に応じて実社会で駆使することができる。

・多様な文化や価値観を持つ人々とかかわり、他者の意見に耳を傾けながら日本語で自らの気持ちや考えを的確に表現する力、および伝達する力を身につけることができる。

○食物栄養学科

食物栄養の学びをとおして、疾病を予防し、健康を維持増進する努力ができる。

〈保育健康コース〉

子どもを対象として、生涯にわたって健康を維持増進するための食育ができる。

〈医事健康コース〉

情報処理能力を身につけ、他者とのコミュニケーションをはかり、多様な社会の中で業務を遂行できる。

〈留学生コース〉

・食を通じ、日本社会で必要な知識、教養のみならず、文化、習慣を理解することができる。

・日本語の基礎能力を習得・統合し、自身の目的に応じて実社会で駆使することができる。

・多様な文化や価値観を持つ人々とかかわり、他者の意見に耳を傾けながら日本語で自らの気持ちや考えを的確に表現する力、および伝達する力を身につけることができる。

○幼児教育学科

〈保育コース〉

・教育と保育の基礎的な知識・技術が習得できる。

・教育と保育に関する問題や疑問を分析し、考察することができる。

・こどもを受容し、共感的態度で接することができる。

・自己の課題を見つけその課題を解決する力を養うとともに、自らの目標に向けて努力ができる。

〈福祉・介護コース〉

・福祉現場で求められる日本語運用力および専門的な知識、技術を身につけることができる。

・多様化する社会で、人の健康や生活を大切に、積極的に地域社会に参画できる。

○介護福祉学科

介護福祉士資格取得をめざし、人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケアの４領域にわたる知識、技能を修得理解し行動できる。

・「人間と社会」に関して、介護実践技術の基盤となる教養や倫理的態度の涵養に資することができる。

・「介護」に関して、尊厳の保持、自立支援の考え方を踏まえ、生活を支えることができる。

・「こころとからだのしくみ」に関して、多職種協働や適切な介護の提供ができる。

・「医療的ケア」に関して、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施することができる。

〈留学生コース〉

・介護現場で求められる日本語運用能力および専門的な知識、技術を身につけることができる。

・多様化する社会で介護福祉士として自立し、積極的に地域社会に参画できる。

４．教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

別府溝部学園短期大学では、その教育目標に基づき普遍的に求められる教養と専門性を備えた有為の人材を育成するために、ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科を置き 以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成します。

1　基礎教育科目をとおして、はば広い教養と豊かな人間性を育成するとともに、心身ともに健康で国際化社会に対応できる人材を育成します。

2　各学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能の修得を目指し、もって地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。

3　様々な教育プログラムをとおして、各学科の目指す資格の取得を図るとともに、多様な資格の取得に取り組む意欲のある人材を育成します。

4　インターンシップ、キャリア教育、各種の実習をとおして、実践的教育を図るとともに、就職支援を行い持続的就業力を持つ人材を育成します。

○ライフデザイン総合学科

〈ファッションブライダルコース〉

・ファッション業界やブライダル業界で必要とされる基礎的な知識、技能など、総合的な能力の向上をめざす。

・業界で活躍できる実践力を身につける。

・就業に関する基礎的な技術・知識と資格の取得をめざし、多様な職種にも対応できる能力の獲得をめざす。

〈グラフィックデザインコース〉

・デザインについて必要となる造形力を理解するとともに実践力を身につける。

・デザイン分野のコンピュータによる造形技術を修得する。

・デザインで地域に貢献する活動を通した社会との関りを体験する。

〈医療事務コース〉

・ビジネスや医療事務の現場で求められる資質に関する科目や、資格・検定に関する教育プログラムを編成し、汎用的・専門的な知識と技能の修得をめざす。

・社会人や職業人としての価値観や倫理観を学ぶ教育課程・教育プログラムを編成し、コミュニケーション能力の修得をめざす。

・学外実習などの職業意識を磨く体験型の授業を編成し、実社会における課題探求力と問題解決力の修得をめざす。

〈ビジネス・観光コース（留学生）〉

・グローバル人材として必要なコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、知識、理論の修得をめざす。

・日本語を母国語としない学生が日本でのビジネスに必要な「読む・書く・聞く・話す」の４技能を身につけ、資格修得をめざす。

・ビジネス実務の資格に関する科目を編成し、日本の社会やビジネスの現場

で求められる情報処理の技能を修得する。

・温泉地別府という土地柄を活かし、観光に関する科目を編成し、おもてなし・サービスの知識と技能の修得をめざす。

〈日本語コース（留学生）〉

・多様な文化が共生する学習環境のなかで、異文化を理解し、国際社会に対応するための知識を修得する。

・日本語を母国語としない学生が、日本での生活に必要な日本語の「読む・書く・聞く・話す」の４技能を包括的に学ぶ。

・積極的に社会に参画するためのコミュニケーション能力を高める。

・社会で求められる情報処理の技能や資格取得をめざす。

○食物栄養学科

食をとおした「健康」の維持増進を図るための学びを実践する。

具体的には、栄養士養成に係る授業をとおして、生涯にわたる生活習慣病の予防のための栄養教育を行う。

併せて、情報処理能力を高め、適切な情報発信やプレゼンテーションスキルを学ぶ。

〈保育健康コース〉

・子ども等の健康や生活活動、発達段階等の実態に即した献立作成ができる人材の育成をめざす。

・教育及び保育の内容の一環として食育を位置づけ、給食を活用した食育を実施することができる人材の育成をめざす。

・食物アレルギーやその他の疾患、障がい等のある子ども等に対する個々の状況に応じた対策を学ぶ。

〈医事健康コース〉

・医療現場で役立つ医療的資格の取得をめざす。

・医療事務・介護事務の現場で必要とされるスキルを学ぶ。

・情報処理能力を高め、コミュニケーションスキルを身につける。

〈温泉・観光コース〉

・温泉をベースとして、顧客の要望に柔軟に対応ができることを目標に、温泉の基礎知識・活用方法、地域の歴史文化等について学ぶ。

・自身の経験を以て顧客への適切なプログラムの提案ができることを目標に、地域における観光サービスを現場で学ぶ。

・総合的な「おもてなし」の提供ができることを目標に、コミュニケーション力を身につける。

〈留学生コース〉

・多様な文化が共生する学習環境のなかで、異文化を理解し、国際社会に対応するための知識を習得する。

・日本語を母国語としない学生が日本での生活に必要な日本語の「読む・書く・聞く・話す」の４技能を包括的に学ぶ。

・積極的に社会に参画するためのコミュニケーション能力を高める。

・食と観光に関する科目を編成し、日本の食とおもてなしに関する理解を深める。

○幼児教育学科

〈保育コース〉

・幼稚園や保育所等の現場で成長できる保育者をめざし、核となる専門的知識や技術を修得するため、講義とともに実技を含めた演習と実習を重視する。

・保育者としての使命感を培い、自己を成長させる力や対人関係力、指導実践力を学びます。

①　教育と保育の核となる専門的知識や技術を体系的に学ぶ。

②　保育者さらに社会人として、必要な態度や行動を養う。

③　こどもや保護者、職員間で必要なコミュニケーション能力を身につける。

④　演習や実習をとおして現場における指導実践力を養う。

⑤　幼稚園教諭二種免許、保育士資格の同時取得をめざす。

〈福祉・介護コース〉

・多様な文化が共生すが学習環境のなかで、異文化を理解し、国際社会に対応するための知識を習得する。

・日本語を母語としない学生が日本で専門職として就職する際に必要な「読む・書く・聞く・話す」の４技術を包括的に学ぶ。

・積極的に社会に参画するためのコミュニケーション能力を高める。

・保育・介護に関する科目を編成し、福祉に関する理解を深める。

○**介護福祉学科**

・社会に貢献できる生活支援の専門職である、介護福祉士としての教育を編成する。

・専門性の高い介護福祉士を養成するために、確かな技術及び知識だけでなく、エビデンスを踏まえた現場実践に結びつくカリキュラムの編成をする。

・情報教育やコミュニケーションの手段として、入学当初より全員で大正琴演奏に取り組み、福祉にとって最も大切な連携を学ぶための実践活動をする。また、ボランティア講座を設け、人としての豊かな感性の育成にも励む。学生の個別性を大切にしながら、様々な教育活動を通して学び、卒業時には、全員が介護福祉士としての資格獲得をめざす。更に福祉分野での活躍・貢献に必要な“人間力”向上に向けたアプローチをする。

・人間と社会の分野では、個人の生活を理解するため、社会の仕組みや関わりについて、介護福祉と尊厳の重要性とその方法について学ぶ。

・介護の分野では、介護の考え方を理解するとともに、身体介護・障がい者支援・衣食住に関する生活支援等、様々な生活支援技術について学ぶ。

・こころとからだのしくみの分野では、医学的・看護的な知識や技術を習得すると同時に、認知症や障がいについての理解を深める。

・医療的ケアの分野では、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術について学ぶ。

・実習（施設・在宅）の分野では、２年間にわたり、多くの実習施設において介護実習指導者の方々の指導のもと、ケアの本質や介護福祉士としての果たすべき役割等についての理解を深め、専門職としての能力を高める。

5．アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の方針）

別府溝部学園短期大学では、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：DP」「教育課程の方針（カリキュラム・ポリシー）：CP」「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：AP」に基づき、機関レベル・教育課程レベル・科目レベルの３段階で学修成果を査定する方法を定めています。

機関レベル（別府溝部学園短期大学）のアセスメント・ポリシー

学生の志望進路（就職率、資格・免許を活用した進路への就業率など）から、

学修成果の達成状況を査定します。

教育課程レベル（各学科）のアセスメントポリシー

各学科の卒業要件達成状況、資格・免許の取得状況などから教育課程全体を通した学修成果の達成状況を査定します。

※具体的な検証方法

入学前・入学直後 AP を満たす人材かどうかの判定	単位認定・進級判定 CP に則って学修が進められているかの判定	卒業判定・卒業後 DP を見たす人材になったかどうかの判定
・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・取得資格等	・GPA ・学生生活に関するアンケート ・休学率・退学率など	・卒業率 ・学位授与数 ・就職率 ・卒業時満足度調査

ライフデザイン総合学科
※具体的な検証方法

入学前・入学直後 AP を満たす人材かどうかの判定	単位認定・進級判定 CP に則って学修が進められているかの判定	卒業判定・卒業後 DP を満たす人材になったかどうかの判定
・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・取得資格等 ・面接、志望理由等	・GPA ・修得単位数 ・学外実習に対する実習記録 ・報告 ・学外実習の評価 ・学内外活動・社会貢献状況 ・学生生活に関するアンケート	・GPA ・単位取得状況 ・資格、免許取得状況 ・卒業時満足度調査 ・専門職就職率

食物栄養学科
※具体的な検証方法

入学前・入学直後 AP を満たす人材かどうかの判定	単位認定・進級判定 CP に則って学修が進められているかの判定	卒業判定・卒業後 DP を満たす人材になったかどうかの判定
・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・取得資格等 ・面接、志望理由等	・GPA ・修得単位数 ・学外実習に対する実習記録・報告 ・学外実習の評価 ・学内外活動・社会貢献状況 ・学生生活に関するアンケート	・GPA ・単位取得状況 ・資格、免許取得状況 ・卒業時満足度調査 ・専門職就職率

幼児教育学科

※具体的な検証方法

入学前・入学直後 AP を満たす人材かどうかの判定	単位認定・進級判定 CP に則って学修が進められているかの判定	卒業判定・卒業後 DP を満たす人材になったかどうかの判定
・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・取得資格等 ・面接、志望理由等	・GPA ・修得単位数 ・学外実習に対する実習記録・報告 ・学外実習の評価 ・学内外活動・社会貢献状況 ・学生生活に関するアンケート	・GPA ・単位取得状況 ・資格、免許取得状況 ・卒業時満足度調査 ・専門職就職率

介護福祉学科

※具体的な検証方法

入学前・入学直後 AP を満たす人材かどうかの判定	単位認定・進級判定 CP に則って学修が進められているかの判定	卒業判定・卒業後 DP を満たす人材になったかどうかの判定
・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・取得資格等 ・面接、志望理由等	・GPA ・修得単位数 ・学外実習に対する実習記録・報告 ・学外実習の評価 ・学内外活動・社会貢献状況 ・学生生活に関するアンケート	・GPA ・単位取得状況 ・資格、免許取得状況 ・卒業時満足度調査 ・専門職就職率

科目レベル

シラバスで提示された授業科目の学修目標に対する評価や授業評価アンケートの結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を査定します。

※具体的な検証方法

入学前・入学直後 AP を満たす人材かどうかの判定	単位認定・進級判定 CP に則って学修が進められているかの判定	卒業判定 DP を満たす人材になったかどうかの判定
・各種入学試験 ・調査書等の記載内容 ・取得資格等	・成績評価 ・学外実習評価 ・学修ポートフォリオ	

6．別府溝部学園短期大学　成績評価の方針（令和８年度）

別府溝部学園短期大学は、「卒業認定･学位授与の方針」において、卒業生に「何ができるようになるのか」を、専門分野に係る能力も含め、適切な観点から「～ができる」という内容に令和元年度より統一してきた。

各学科において、学生の主体的な学修の前提としてこの方針との関係及びこの達成を評価するために、各科目のシラバスに到達目標（〜ができる)」を明記し、学生の成績評価を行うにあたり適切な評価方法をシラバスに記載し、これに基づき厳格な成績評価を行うこととする。

7．栄 光 の 伝 統

35周年記念館４階の大展示室には芸術性豊かに高度で精緻な技術を思わせる手工芸制作の大作が飾られていますが、これらの作品がすべて過去各年次の被服学科、服飾デザイン学科の学生の制作であることを知って驚かない参観者はありません。それらが、全国手工芸展で文部大臣賞等を受賞している作品群の一部であるとの説明を聞いてうなずかない人もありません。同展は、全国の大学を含み一般からも応募されるこの部門での最も権威ある展覧会です。

幸い成田空港をはじめ大分市庁舎などを飾るようになりました。いまや学園の高い教育と技術の水準を示すものとして自他ともに認める輝やかしい伝統となりました。このことは、決して服飾デザイン学科（現・ライフデザイン総合学科）の誇りにとどまらず学園の誇りです。

水泳部は日本学生選手権にも出場。九州でも好成績を残してきました。また、弓道部は第56回九州学生弓道選手権大会では女子団体戦・個人戦ともに優勝しました。さらに、九州代表として三重県の伊勢神宮で開催された第42回全日本学生弓道女子王座決定戦に出場し、全国２位という好成績を収めました。また、女子個人でも第42回女子東西学生弓道選抜対抗試合から４年連続で西軍代表に選出されるなど活躍しています。また、ハンドベル部は、平成５年より活動を始め、大分県下の幼稚園、小学校などの教育施設や自治体の各種イベントでの公演活動、テレビ、ラジオの取材の他、地域からの招聘を受けての演奏会及び、アジア大会、九州大会への出場など、大分県でのハンドベルのリーダーとなっています。そのほか、専門の学芸の研究やクラブ活動での活躍が新聞・ＴＶで報道されるなど、本学園に学ぶ研鑽の成果が社会的に認められていることは力強い限りです。

8．沿 革 略 史

昭和　２１．　４．　８　　別府高等技芸学校設立

昭和	２８．１２．　１	学校法人溝部学園認可
	３１．　４．　２	別府女子高校設立
		溝部ミツヱ校長就任
	３８．　３．３１	大学用校舎第一号館落成
	３８．１１．３０	大学用校舎第二号館落成
	３９．　１．２５	別府女子短期大学被服科設置認可(定員40名)
	３９．　４．　１	ひめやま保育園設置
		溝部ミツヱ園長就任
	３９．　４．１６	短大　開学式(第一回入学式)挙行
	３９．　８．３０	理事長　学長　溝部ミツヱ逝去
	３９．　９．１３	相良範子　理事長就任
	３９．　９．１５	相良好仁　学長就任
	４０．　３．３１	大学用校舎第三号館落成
	４０．１１．３０	大学用校舎第四号館落成
	４１．　１．２５	食物科認可(定員50名)
	４１．　２．　７	栄養士養成施設指定
	４１．　３．１８	短大第一回卒業式挙行
	４１．　３．３１	学生寮　姫山寮落成
	４１．　４．　１	大分県歯科衛生士学院設置
		相良好仁　院長就任
	４２．１１．３０	本館落成
	４２．１２．２８	食物科入学定員100名に変更
	４３．　２．　３	幼児教育科認可(定員50名)
	４３．　３．　３	音楽教室落成
	４３．　４．２０	付属ひめやま幼稚園認可　相良好仁　園長就任
	４３．１１．　９	「光苑山荘」開設
	４４．　４．　１	大分県歯科技工士学院設置
		相良好仁　院長就任
	４４．　４．　１	歯科校舎落成
	４４．１０．　１	学生寮　橘寮落成
	４５．　９．３０	本館前ロータリー完成
	４６．　３．３１	体育館落成
	４７．　４．　１	衣料管理士養成施設指定

昭和	４７．１１．　１	溝部センタービル落成
		大分県歯科衛生士学院付属歯科診療所開設
		書店「リーブル姫山」開店
		付属画廊「姫山」開設
	４８．　４．　１	付属ひめやま幼稚園　相良範子　園長就任
	５１．　４．　８	創立 30 周年を迎える
昭和	５１．　８．２４	大分県歯科技工専門学校歯科専門課程設置認可
		大分県歯科衛生士学院同技工士学院廃止
	５１．　８．３１	第二歯科棟落成
	５１．１０．２９	学園創立 30 周年記念式典挙行
	５４．　４．１６	別府女子短期大学開学 15 周年を迎える
		卒業生総数　1,043 名
	５４．１０．３１	第三歯科棟落成
	５５．　５．１２	理事長　相良範子　短期大学教育に対する功績により文部大臣表彰を受ける
	５５．１１．　１	学園創立 35 周年記念式典挙行
	５６．　７．　７	35 周年記念館竣工 (オフィス・オートメーション及び教育工学関連機器設置)
	５７．１２．　８	短大記念ホール（音楽演奏室）竣工
	５９．１１．２０	理事長　相良範子　産業教育に対する功績により文部大臣表彰を受ける
	６０．１１．　２	学園創立 40 周年記念式典挙行
	６０．１１．　２	85 年館（公認温泉プール、多目的武道場、調理実習室、試食室等）竣工
	６１．　４．　１	服飾デザイン学科新設（被服科廃止）(定員 40 名)
	６１．　５．３０	服飾デザイン学科実習棟竣工
	６２．１０．３１	87 年館（学生ホール、教室等）竣工
平成	元.　９．２８	短大本館増築竣工
	元. １０．２６	理事長　相良範子　栄養士養成に対する功績により厚生大臣表彰を受ける
	２．１０．２５	学長　相良好仁短期大学教育にたいする功績により文部大臣表彰を受ける
	２．１１．１０	学園創立45周年記念式典挙行

	３．　８．３１	音楽棟完成
	３．１１．１８	学園第二グラウンド竣工
	５．　９．２０	短大特別教室棟竣工（健康アドバイザー実習室）
	７．　５．１２	学長　相良好仁　勲四等旭日小綬章を受章
	７．　６．　１	マルチメディアネットワーク教育システム完成
	７．１１．２１	学園創立50周年式典並びに50年史発刊
	９．　２．　７	学内統合ネットワークシステム完成
	１０．　４．　１	学長　相良好仁　名誉学長に 溝部　仁　学長に就任
	１０．１１．１０	理事長　相良範子　勲四等寶冠章を受章
	１１．　９．　１	マルチメディアネットワーク学習システム完成
	１４．１１．３０	福祉介護棟竣工
	１４．１２．２１	介護福祉学科設置認可（定員40名）
	１５．　４．　１	別府溝部学園短期大学に校名変更
	１７．１１．　５	学園創立60周年式典挙行並びに60年史発刊
	２０．　４．　１	ライフデザイン総合学科（定員60名）新設 食物栄養学科（定員60名）名称・定員変更 幼児教育学科（定員70名）定員変更 介護福祉学科（定員40名） の４学科に改編
	２１．　４．　１	ひらた保育園　別府市より移管される
	２１．１０．１６	溝部　仁　理事長に就任
	２３．　９．２３	中国上海東海職業技術学院との友好協力協定締結
	２３．１２．１２	中国上海思博職業技術学院との友好協力協定締結
	２３．１２．１３	中国上海中僑職業技術学院との友好協力協定締結
	２６．　６．３０	中国瀋陽師範大学との国際交流協定締結
	２７．　３．１２	短期大学基準協会による第三者評価適格認定
	２７．　８．　２	学園創立70周年記念溝部学園フェスタ開催
	２７．１０．３１	学園創立70周年記念式典、記念講演会挙行 並びに記念新聞発行
	３１．　４．　１	食物栄養学科（定員40名）定員変更 介護福祉学科（定員30名）定員変更
令和	７．　４．　１	ライフデザイン総合学科（定員75名）定員変更 幼児教育学科（定員50名）定員変更 介護福祉学科（定員35名）定員変更
	７．１０．　３	学園創立80周年記念式典挙行

９．本 学 の 施 設

⑴　校舎の概要

60年館（短大本館）	鉄筋コンクリート造・３階建	1,408.98㎡
65年館（２号館）	鉄筋コンクリート造・４階建	888.48㎡
62年館（体育館）	鉄骨造・２階建	1,008.89㎡
81年館（記念館）	鉄筋コンクリート造・６階建	1,921.62㎡
85年館	鉄筋コンクリート造・３階建	1,528.39㎡
（食物栄養系実習室・武道場・温泉プール）		
69年館（学生寮）	鉄筋コンクリート造・４階建	1,088.74㎡
72年館（溝部センタービル）	鉄筋コンクリート造・６階建	1,559.24㎡
86年館（実習工房）	鉄骨造・平家建	265.87㎡
87年館（学生ホール）	鉄筋コンクリート造・３階建	429.47㎡
91年館（音楽棟）	鉄筋コンクリート造・２階建	314.36㎡
93年館（特別実習棟）	木造２階建	565.6㎡
02年館（福祉介護棟）	鉄骨造２階建	1,096.76㎡

⑵　施設の概要

学園本部施設（記念館）

理事長室・学長室・法人本部室・事務室・応接室・大会議場・技術室

大学管理施設（短大本館）

教官室・教務課・健康管理室・会議室・就職支援室・学生相談室

教　　室（各　　館）

講義室　12室　　　集中講義室　２室　　　ＭＬ教室　１室

実験・実習・演習室

＜ライフデザイン総合学科＞

被服構成（洋裁）実習室・染色室・陶芸室・グラフィック研究室

＜食物栄養学科＞

理化学実験室・調理実習室・給食管理・給食管理実習試食室・試食室・健康アドバイザー実習室・健康アドバイザー研究室

＜幼児教育学科＞

ＭＬ教室・レッスン室・美術教室・音楽研究室・幼児体育実習室

＜介護福祉学科＞

介護実習室・入浴実習室

教員研究室（各館）

ライフデザイン研究室・染色研究室・グラフィック研究室・食物栄養学研究室・調理研究室・理化学研究室・健康アドバイザー実習室・健康アドバイザー研究室・幼児教育研究室・食物栄養学研究室・介護福祉研究室・国際交流ルーム221

付属施設

図書館・作品展示室・体育館・短大ホール・多目的ホール・温泉プール

学生厚生施設

休養室・就職支援室・カウンセラー室・学生ホール・学生小ホール・購買部リーブル姫山（書店）

学 生 寮

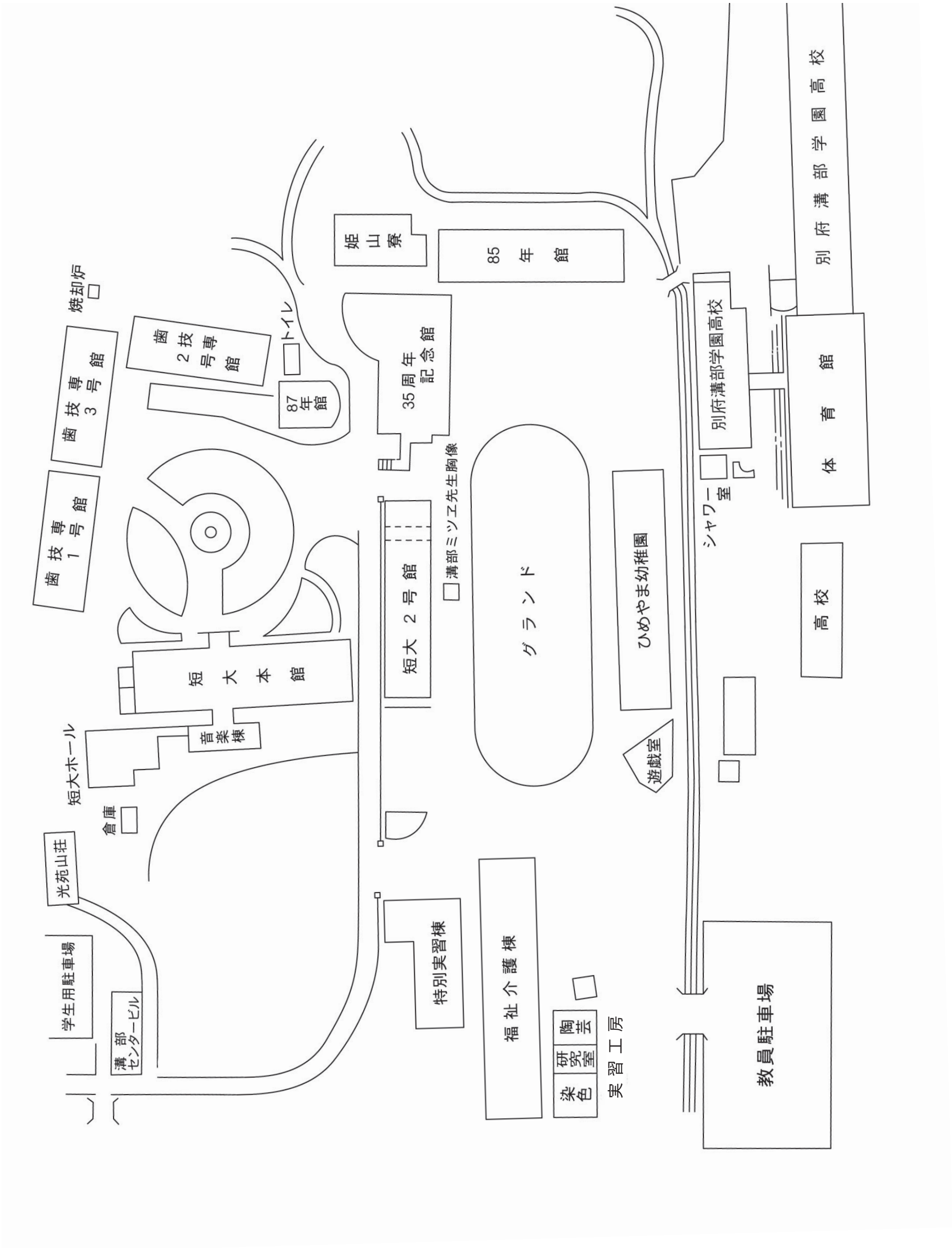
溝部センタービル

姫山寮

留学生寮

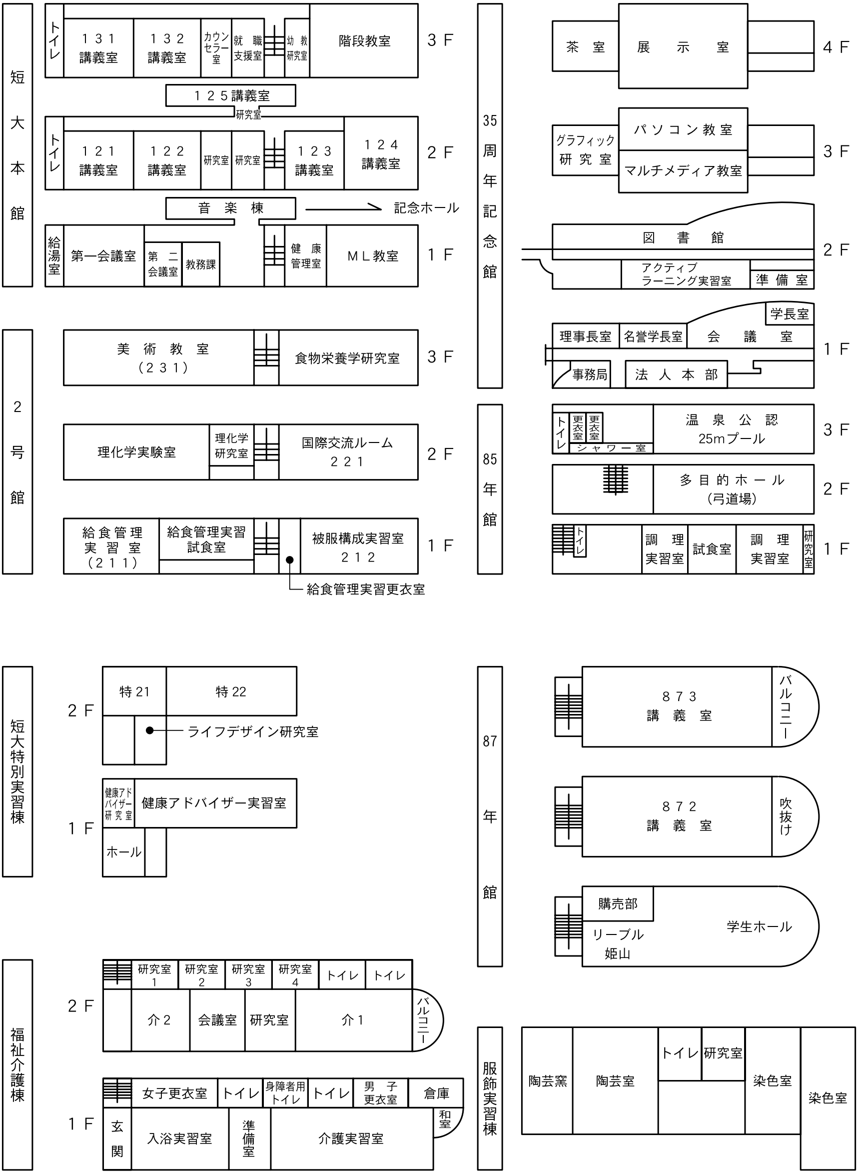
福祉介護棟

学園キャンパス



別府溝部学園高校
別府溝部学園高校
体育館
85年館
姫山寮
35周年記念館
溝部ミツエ先生胸像
グランド
ひめやま幼稚園
シャワー室
高校
遊戯室
短大2号館
短大本館
音楽棟
短大ホール
倉庫
光苑山荘
学生用駐車場
溝部センタービル
特別実習棟
福祉介護棟
陶芸
研究室
染色
実習工房
教員駐車場
歯技専1号館
歯技専3号館
歯技専2号館
87年館
トイレ
焼却炉

教室配置図


短大本館
トイレ
131 講義室
132 講義室
カウンセラー室
就職支援室
幼教研究室
階段教室
3F
125講義室
研究室
121 講義室
122 講義室
研究室
研究室
123 講義室
124 講義室
2F
音楽棟
記念ホール
給湯室
第一会議室
第二会議室
教務課
健康管理室
ML教室
1F
2号館
美術教室（231）
食物栄養学研究室
3F
理化学実験室
理化学研究室
国際交流ルーム 221
2F
給食管理実習室（211）
給食管理実習試食室
被服構成実習室 212
1F
給食管理実習更衣室
35周年記念館
茶室
展示室
4F
グラフィック研究室
パソコン教室
マルチメディア教室
3F
図書館
アクティブラーニング実習室
準備室
2F
学長室
理事長室
名誉学長室
会議室
事務局
法人本部
1F
85年館
トイレ
更衣室
更衣室
シャワー室
温泉公認 25mプール
3F
多目的ホール（弓道場）
2F
トイレ
調理実習室
試食室
調理実習室
研究室
1F
短大特別実習棟
特21
特22
2F
ライフデザイン研究室
健康アドバイザー研究室
健康アドバイザー実習室
ホール
1F
87年館
873 講義室
バルコニー
872 講義室
吹抜け
購売部
リーブル姫山
学生ホール
福祉介護棟
研究室1
研究室2
研究室3
研究室4
トイレ
トイレ
介2
会議室
研究室
介1
バルコニー
2F
女子更衣室
トイレ
身障者用トイレ
トイレ
男子更衣室
倉庫
玄関
入浴実習室
準備室
介護実習室
和室
1F
服飾実習棟
陶芸窯
陶芸室
トイレ
研究室
染色室
染色室

2　本学の機構・組織

1．大学の管理運営機構

本学は、大学としての機能をはたすために、次のような機関と機構のもとで管理運営がなされています。

⑴　理 事 会

大学の財産を管理運営していく、学校法人溝部学園の役員（理事・監事）によって構成されています。(寄付行為)

⑵　教 授 会

大学の教育や運営上の重要事項を審議決定し、学長が決定を行うに際して、意見を述べることができる組織であり、学長および本学専任の教授、准教授、講師、助教をもって構成されています。(学則)

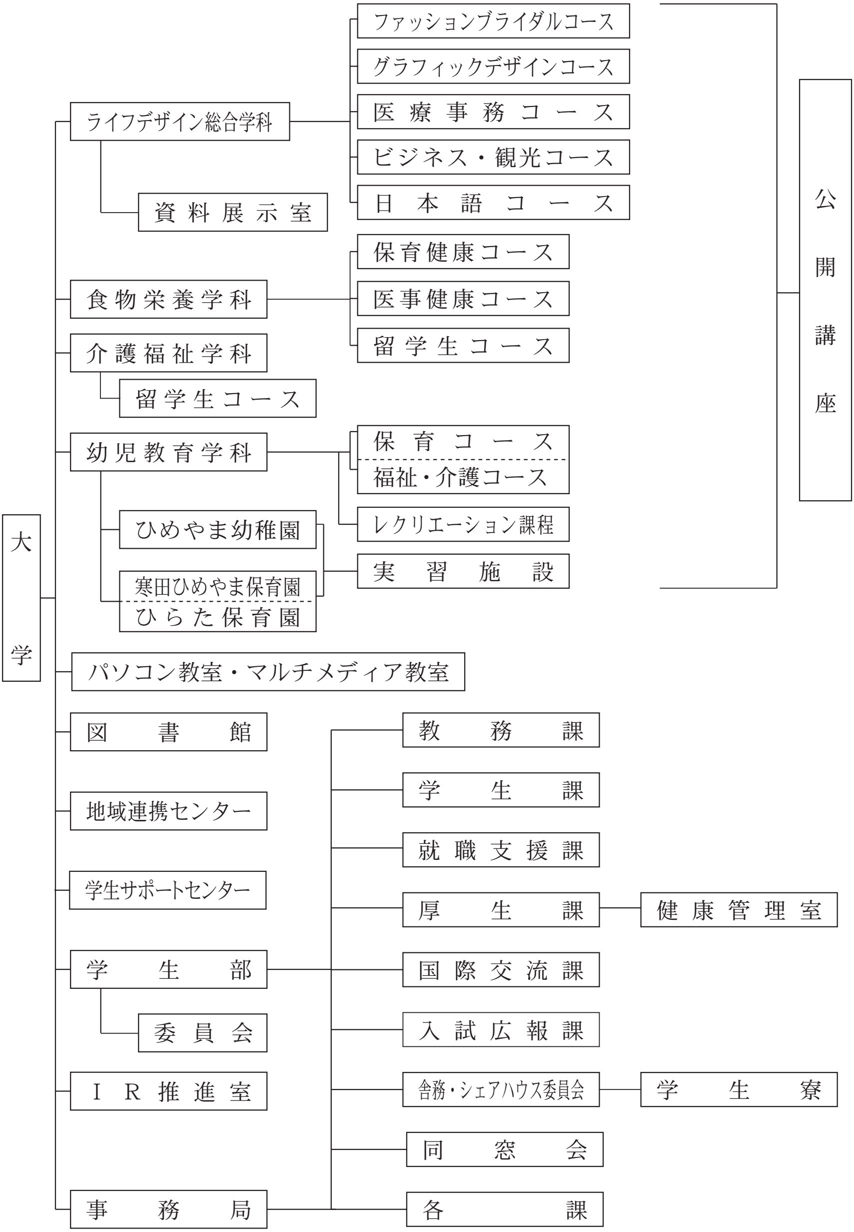
⑶　評議員会

理事会の諮問機関として、評議員（本学の教職員と卒業生の中から選ばれた者及び理事会で推薦された者）によって構成されています。

なお、理事会を代表し、学校法人溝部学園を管理運営する長として理事長、教授会を代表し、大学を統轄する長として学長があり、以上の諸機関の緊密な連携と民主的な運営がなされることによって本学の発展が期せられています。

2．学科・コース

(1)　学科・専攻・事務の構成



⑵　別府溝部学園短期大学の教育目標

「自立･自活できる人材の育成」を建学の精神とし、ライフデザイン、食物栄養、幼児教育及び介護福祉に関して深く専門的な学術を研究することともに、職業に必須の教育を授け、豊かな教育と優秀な技能を有し、かつ極めてよき指導者として有為な人材を育成し、民主主義社会における文化の創造進展に寄与することと供に、地域振興に貢献できる人材の育成を目標とする。

⑶　学科・コースの教育目標

みなさんは、本学への受験に際して、進学する学科に加えてその学科の中のどのコース、専攻を選択して履修するかを決めていた人も多いと思います。公表された入試要項にも掲げられているように、各学科にはそれぞれいくつかの履修コースや専攻があります。それらは、それぞれに独自の教育目標をもち、独自の専門的な学問系列にしたがって履修がなされるものですが、本学の場合、建学の精神にもとづいて、ほとんどが資格や免許の取得ができる教育課程を組んでいます。

本学では、新入学生の履修コースの選択を入学直後の春季研修会（オリエンテーション）で十分な説明を加えたうえで確定することになっています。

細部についてはこのオリエンテーションのときに行なわれる各学科長の解説と指導を待つとして、ここでは概説を試みておきます。

ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科は、それぞれのコースに所属する学生が、自分の学びたいこと、また取得したい資格などによって科目を選び、自分の手で工夫して、自分なりの授業時間割を作っていきます。基礎教育科目は共通ですが、専門教育科目では、それぞれのコースごとに設定された科目の中から、学びたい科目の授業を受けることができます。

学生一人ひとりの夢実現のため、将来の個々の職業に必要な知識・技能を修得し、人間的にも豊かな心や洗練されたマナーを身につけ、社会に有為な人材を育成することを目標としています。

Ⓐファッションブライダルコース

被服製作、工芸、ファッションビジネス、ブライダル、色彩、メイクアップ、

ネイルアート等の技術を基礎から応用まで幅広く学びます。ファッション業界、ブライダル業界で必要な実践力と就業力を修得し、業界で活躍できる人材の育成を目標とします。

(B)グラフィックデザインコース

Mac を使用し、デザイン・広告・印刷業界で今必要とされている知識、技術を基礎から応用まで幅広く学び、自分のイメージを自由に表現できるデザイナー・クリエイターをめざします。

またグラフィックデザイン全般（DTP・Web・動画)、工芸（染色・陶芸)、絵画・素描についても学び、各自の感性と知識の両面から磨いていきます。

(C)医療事務コース

病院、診療所、一般企業などの事務的分野で活躍できる人材育成を目標としています。特に、診療報酬請求事務能力、パソコン活用能力、事務処理能力の向上を目標とする授業を数多く開講しており、各種検定試験の合格をめざし、就職してからの即戦力を養います。

また、事務的技術の習得･習熟にとどまらず、あわせて、「人と人」とのコミュニケーション能力を身につけて、就職に有用な技術や知識を学びます。

(D)ビジネス・観光コース

どこの国でも通用する次世代のビジネスリーダー、観光業に携わるものとしての基礎を構築することがコース目標です。パソコンスキル、コミュニケーション能力及びビジネス実務士、情報処理士・観光実務士の資格取得をめざしながら、経営や観光・サービスの知識を身につけ、応用・展開できる人材の育成に務めています。

(E)日本語コース

日本語能力向上を中心に捉え、パソコンやコミュニケーションスキル・ビジネスマナー・日本の文化などを学びます。情報科学、コミュニケーション論などの基礎科目と、社会一般、ビジネス実務、日本の文化・社会などの専門教科フィールドを学びます。日本で留学生が必要とする知識、教養を幅広く学び、身につけます。

ライフデザイン総合学科では、次の資格や免許を取ることができます。

(受講して取得できる資格)

・ファッションアドバイザー（学）
・ブライダルアシスタントコーディネーター（学）
・ＤＴＰデザイナー（学）
・Ｗｅｂデザイナー（学）
・ビジネス実務士（民）
・医療秘書実務士（民）
・診療情報管理実務士（民）
・情報処理士（民）
・観光実務士（民）
・社会福祉主事任用資格（国）
・介護職員初任者研修（県）
・手話講習会入門課程（民）

(めざす資格・検定)

・WBJ『認定ウエディングプランナー』検定
・ファッション販売能力検定
・ファッションビジネス能力検定
・ファッションコーディネート色彩能力検定
・Photoshop クリエイター能力認定試験
・Illustrator クリエイター能力認定試験
・色彩士検定
・色彩検定
・日本語ワープロ検定
・情報処理技能検定
・文書デザイン検定
・文章入力スピード認定
・プレゼンテーション作成検定
・ホームページ作成検定
・日本語能力試験Ｎ１、Ｎ２
・医事実務検定試験

食物栄養学科

本学食物栄養学科の教育目標は、「社会生活と健康」、「人体の構造と機能」、「食品と衛生」、「栄養と健康」、「栄養指導」、「給食の運営・管理」などに関する基礎的な知識を教授し、食を通して疾病を予防し、人々の健康を維持増進することに貢献できる専門家としての栄養士を養成することです。併せて、各３コースで設定された資格取得をめざし、本学の建学の精神である「自立・自活できる人材の育成」を達成することです。

人の幸せをＱＯＬ（生活の質）の観点からみると、「幸福」とは、身心の健康、良好な人間関係、やりがいのある仕事、快適な住環境、十分な教育、レクリエーション活動、レジャーなど様々です。その中でも、「幸福」は健康によって左右されるところが大きく占めます。健康は生活習慣などに影響され、特に日々の食習慣の影響は大きく、生命維持の基本でもあります。昨今の日本では、食に関する情報・食品・サプリメントなど多様な食環境が広がり、健康を害する誤った食生活を選択してしまう可能性が大きくなっています。また、そこから起因する生活習慣病や乳幼児の食物アレルギーも増加しています。食中毒など食べ物由来の感染症も油断できません。その様な社会背景の中、本学科は、知識と豊かな人間性をあわせ持った「実践に強い栄養士の育成」をめざしています。

食物と人体そして我々を取り巻く環境との関係を理解し、正しい食習慣を実践すること、そして、伝えることができる知識と技術を学ぶことによって、人々のＱＯＬに貢献できる専門家としての人材が育つことをめざしています。

また、「温泉コンシェルジュ」関係科目を受講することにより、温泉観光地における総合世話係としての活躍の場が期待できます。

(A)　保育健康コース

生活習慣病予防のため食育は重要です。栄養士と栄養教諭の免許を同時に取得し、「子ども達に楽しく食育のできる栄養士」をめざします。小学校・中学校はもとより、特に保育園・幼稚園児にスポットをあて、幼児期の心身の発達段階の特性等を理解し、子ども達に食の大切さを伝えるスキルを身につけます。そして、「保護者にも食育ができる栄養士」を養成します。

※取得免許・資格

・栄養士（国）

・栄養教諭二種（国）
・保育栄養アドバイザー（学）
・介護職員初任者研修（県）
・こども食物アレルギー実務課程（民）
・温泉入浴アドバイザー課程（学）
・社会福祉主事任用資格（国）

Ⓑ　医事健康コース

病院や医院（クリニック）では、窓口業務や事務処理を担当する「医療秘書実務士」が活躍しています。そこで、栄養面での指導や現場での様々な業務をこなすために、栄養士と医療秘書実務士の同時取得をめざします。医療事務を学び、病気の知識とコミュニケーション能力を高め、窓口業務で栄養指導もおこなえる人材を養成します。

※取得免許・資格
・栄養士（国）
・医療秘書実務士（民）
・介護職員初任者研修（県）
・社会福祉主事任用資格（国）
・手話講習会入門課程（民）
・こども食物アレルギー実務課程（民）
・温泉入浴アドバイザー課程（学）

幼児教育学科

幼児教育学科の教育目標は、人類の福祉とこどもの最善の利益および乳幼児における人間形成に貢献できる有為な保育者を育成することです。

「知識・技術」、「対人関係力（人との関係を育くむ力）」、「反省改善力（人と共に歩む姿勢）」、「保育実践力」に整理した学習成果を達成し、高度で実践的な保育と子育ての専門知識・技能を身につけます。

教育課程の履修を通して、保育士資格と幼稚園教諭二種免許状をはじめとする多彩な資格を取得できるカリキュラムを編成しています。

就学前の乳幼児をはじめとする人の成長と発達の道筋を幅広く見通しながら

学修することを通して、高度な専門性と保育実践力を修得しうる体系となっています。

さらに社会の要請に応える実践力および学位授与の方針に示す問題解決能力や社会に貢献する態度を育成するため、実践・体験活動を重視した教育を実施しています。

⒜　幼稚園教諭免許と保育士資格

この学科の特色のひとつとして、幼稚園教諭免許と保育士資格を同時に取得できるということが挙げられます。幼稚園教諭については文部科学省が、保育士資格については厚生労働省が指定する教育課程にもとづいて、科目履修および単位の修得がなされます。

免許や資格の付与に必要な諸種の学外施設での実習の実施上の困難などもあって、多くの大学では、いずれか１つの養成課程を履修させるのが多いようです。したがって、本学のように２つの免許・資格を取得することは、履修するうえでかなりな負担となることを覚悟しなければなりません。しかし、2015 年４月からは幼保連携型認定こども園が発足し、保育教諭として働くには両資格が必要となっています。幼児教育をめざす学生の将来にとって、両資格をもつことはきわめて有利な条件となります。また、保育士資格は前述の保育所（園）に加えて、養護施設・乳児院・障害児（者）支援施設・重症心身障害児者施設などの社会福祉施設への就業も可能な資格です。

この学科での専門教育科目は、原理・教育学系、心理系、福祉・医療系、保健・栄養系、保育内容系、基礎技術系（音・図・体）などの諸系列の科目編成となっています。

さらに、この学科では教育実習や保育実習が重要な科目となります。各種段階での実習が、関連科目の履修成果を実践する場となり、学生の保育者としての自覚や実践的能力の育成に極めて大きな意義をもつからです。本学では、実習の基礎段階を幼保連携型認定こども園ひめやま幼稚園と寒田ひめやま保育園、ひらた保育園で十分に体験したうえで、学外各施設での実習に移行するようになっています。

⒝　ピアヘルパー／准子育て支援教育カウンセラー

通信技術の驚異的な進歩により、国際化、情報化、競争化がもたらされ、現代社会は時間的切迫感を持ったストレス社会であるといわれています。そのため、ヒューマンサービスに携わる職能人にはストレスに対処する力やコミュニ

ケーションスキルが強く必要とされるようになっています。

このような力やスキルを証明するものの１つとして、日本教育カウンセラー協会の認定資格であるピアヘルパー／准子育て支援教育カウンセラーがあります。本学で開講されるカウンセリングや関連する心理学の理論方法についての科目を履修し、筆記試験に合格すると、ピアヘルパー／准子育て支援教育カウンセラーの資格を取得することができ、カウンセリング等について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人と関わるために必要な基本的な力を身につけた者であることが証明されます。また、資格取得後、保育等の実践経験や協会主催の研修に参加することを経て初級教育カウンセラー資格を取得できるパスポートにもなります。

(C)　准学校心理士

こども自身やこどもを取り巻く保護者や教師、学校に対して、「学校心理学」の基礎的知識と技能をもって、心理教育的援助サービスを行うことのできる資格です。学校生活におけるさまざまな問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリングを行えます。また、保育等の実践経験や学校心理士会の研修に参加することを経て、学校心理士資格を取得できます。准学校心理士資格を取得することで、県内有資格者との研修や交流の場が得られ、自身の提供する心理支援の質を高めることができます。

(D)　上級救命講習修了証

こどもの尊い命を預かる保育者は、万が一に備え、子どもの命を守るために、適切な処置を行う正しい知識と技術を身につけることが求められています。

上級救命講習では、救急救命士の指導を受けながら、成人から小児・乳児を対象とした心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用方法、外傷の手当などを学びます。講習修了後は、上級救命講習修了証（カード）が交付されます。

(E)　こども食物アレルギー実務課程修了証

乳幼児の５％前後が食物アレルギー患者で、近年増加傾向にあります。将来、保育施設で働く保育者を目指す学生にとって保育現場での「食物アレルギー対応」が、活動のなかで求められています。この資格は「こどもの食と栄養」

が必須科目であり、尚且つ「保育実習・幼稚園実習」を受講することにより、食物アレルギーの基礎知識から保育施設業務そして多職種との連携について具体的かつ実践的に学ぶことができます。このような科目で、こどもへの食物アレルギーの対応方法を学んだ者に対して“こども食物アレルギー実務課程修了証”が交付されます。

⒡　こども音楽療法士

音楽を通して、こどもの発達に合わせた支援を行う能力を身に付けた人に与えられる資格です。科目を通して、こどもの発達を理解し、音楽療育に関する知識や技術、実践力を学び、発達に合わせた支援を考え、音楽を使ったコミュニケーション能力を身に付けます。取得後は、保育、児童福祉、社会福祉等の各施設で、音楽療育を実践できるようになります。

※取得免許・資格

・幼稚園教諭二種免許（国）
・保育士資格（国）
・社会福祉主事任用資格（国）
・ピアヘルパー／准子育て支援教育カウンセラー（民）
・准学校心理士（民）
・上級救命講習修了証
・こども食物アレルギー実務課程修了証（民）
・こども音楽療育士（民）
・児童指導員任用資格
※幼稚園教諭免許取得後３年以上児童福祉事業に従事した者に与えられる（大分県条例第六十一号）
・その他パソコンの情報処理スキルの資格取得可能

介護福祉学科

わが国の高齢化は、世界に類を見ない速さで進行し、平成 29 年の高齢化率 27.7％が平成 30 年には 28.4％に達し、国民の約４人に１人以上が 65 歳以上の高齢者という超高齢社会が到来しています。また、大分県の令和６年 10 月１日現在の高齢化率は 34.4％（総務省統計局推計人口）で、既に超高齢社会へ突入

しており全国10番目の高齢県となっています。さらに別府市はといえば、令和６年10月１日現在の高齢化率が35.1％で国・県を上回る高齢化が進んでいるのが現状です。

また、高齢夫婦世帯（夫婦のどちらかが65歳以上)、高齢者単身世帯（ひとり暮らしの高齢者世帯）ともに、その数及び構成比は増加傾向にあります。

こういう時代背景の下に、介護の専門家によるニーズの高まりが介護福祉士制度を創設しました。そして、改正「社会福祉士及び介護福祉士法」(平成19年）では、介護福祉士の定義が「専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、・・・」となり、平成23年には「喀痰吸引その他その者が日常生活を営むのに必要な行為であって医師の指示の下に行われるものを含む」が加わり高齢者への個別ケアを求めるものとなっています。

本学では、生活支援とりわけ食事面での知識・技術の乏しい介護福祉士が多いという緊急課題から、食を中心とした栄養、調理などの高い知識・技術を持った介護福祉士の養成を行い、住居などの生活支援技術や知識も並行して学びます。

さらに、高齢者・障がい者とのコミュニケーション能力の向上を図るために、高齢者や障がい者の心理を学んだり、「コミュニケーション論」をとおして円滑な人間関係が生まれるような声・表情などを具体的に学びます。また、知覚障がい者や聴覚障がい者と対応するための技術なども修得します。

以上のように、高齢者・障がい者との円滑なコミュニケーションができ、「人間の尊厳」を支えるケアの実践ができる生活支援の技術をしっかり身につけた「介護福祉士」を養成するのがねらいです。そのため「元気よく生活支援ができ　人の気持ちに寄り添える　礼儀正しい介護福祉士」を学科のコンセプト（基本理念）として掲げています。

※取得免許・資格

- 介護福祉士受験資格
- レクリエーション・インストラクター（民）
- 介護保険実務士（民）
- 社会福祉主事任用資格（国）
- 赤十字救急法救急員
- その他、検定試験の受験会場として、パソコン等の情報処理関係の資格

取得も可能

教　職　課　程

建学の精神である、「自立・自活できる人材の育成」の理念に基づき、教職に対する強い情熱と使命感、教育の専門家としての確かな実践的指導力、及び、高い倫理観と豊かな人間性を身につけた教員の養成をめざしています。

本学での履修と単位修得によって取得できる教職免許は、食物栄養学科の「栄養教諭二種免許」、幼児教育学科の「幼稚園教諭二種免許」の２種類があります。

「栄養教諭二種免許」は「栄養士」の資格取得が前提となっています。そのため、社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、給食の運営等学科の専門教育科目を履修するとともに、教職に関する科目（教職概論、教育原理、生徒指導論、発達心理学等）を履修し、単位を修得することとなっています。

「幼稚園教諭二種免許」については、幼児教育学科の教育課程における専門教育科目の中に教職に関する科目が組み込まれていますので、学科の教育課程を履修し、単位を修得することで十分です。

事　務　機　構

本学における教育組織が円滑に運営され、教育研究や学生指導の実を挙げるため学生部が置かれています。学生部は、教務課、学生課、就職支援課、厚生課、国際交流課、入試広報課、舎務・シェアハウス委員会、同窓会で編成されています。

学生の科目履修や授業など学習上必要な業務を中心とする教務課、課外活動をはじめ教室外での学生生活の全般にわたる業務を学生課、就職に関する業務を就職支援課、学生の福祉・健康管理および奨学金に関する業務を厚生課、留学生の指導・助言に関する業務を国際交流課、オープンキャンパスや学内外の情報広報に関する業務を入試広報課、学生寮の管理・運営を舎務・シェアハウス委員会、同窓会に関する業務を同窓会がそれぞれ担当しています。

なお、授業料その他学納金に関する業務については、記念館にある事務局が取り扱うことになっています。

それらのうち、学生のみなさんと特に関連の深い業務の概略は 40・41 頁の

表のとおりです。

アドバイザー制

学園の内でも外でも、個人としてもいろいろな障害や困難に直面して煩悶するのは、かの「若きウエルテルの悩み」の昔からむしろ若者に特有なものであって、それを乗り越えることによって成長するものといえます。

しかし、そこには常に表裏の関係で大なり小なり人生への挫折の危機があることも事実であります。若者に対する示唆、助言、指導は欠くべからざるものとなります。

本学は、その機構をあげてこのことに取り組むためにアドバイザー制を設けています。科目履修や研究、進路、健康、身辺の諸問題から人生観にわたって、アドバイザー教員およびクラス担当教員と学生の間での緊密な交流のなかから適切な助言や指導が学生を勇気づけることができれば、この制度の目的が果たせたことになります。

なお、授業単位としてのクラスには、諸伝達や連絡出欠席などの日常的な事務的処理や指導のために、それぞれクラス事務担当教員が配置されており、アドバイザー教員と緊密な連携のもとに学生の面倒をみる仕組みになっております。

しかし、このような「学生のためにある」制度も、学生の側から積極的な働きかけがなければ絵に描いた餅に過ぎません。

このことを念頭において、学生自らが自分らしく個性的に生きるために、キャンパスライフのアイデンティティを求め、充実した学生生活をおくってほしいものです。